

発行人 / 学園町自治会会長・人見良一  
 投稿・連絡先 / 学園町 2 丁目 8 番地 14 号  
 電話・FAX/421-2336  
 企画編集 / 学園町自治会広報委員会  
 編集長 / 浜名 純

# 学園町 かわら版

購読無料・各戸配布・隔月刊行

104  
号

毎月の第 1・第 3・第 5 月曜日は  
 学園町自治会の資源物回収の日。  
 自治会の収益となりますので、  
 ぜひご協力ください。

## 防災訓練を行いました

関東大震災から 100 年。学園町自治会による防災訓練が 11 月 18 日に行われました。昨年に引き続き「安全確認タグ」を使用する訓練と、コロナ禍でしばらく中断していた防災訓練の 2 本立て。東久留米消防署の指導による初期消火や応急手当の仕方、「煙体験」などが実施され、参加者は改めて防災の重要性を認識しました。



その後、10 時からは住民ら 40 人が  
 由学園グ  
 ラウンド  
 で防災訓  
 練を実施  
 しました。  
 東久留米  
 消防署も  
 10 人体制  
 で協力、  
 東久留米  
 市環境安  
 全部防災

防犯課の小泉課長も参加しました。子どもたちも消火器を持って実際に初期

### しのめカフェで偲ぶ会を開催 矢野信治さん、ありがとう

前自治会長の矢野信治さんを偲ぶ会が 12 日、自由学園しのめカフェで開かれました。8 月 3 日に 80 歳で逝去。晩年はパーキンソン病で不自由な身体でしたが、2019 年まで 10 年以上自治会長として学園町のまちづくり尽力して来られました。巧みな話術とリーダーシップ力で多くの人に尊敬され親しまれてきました。このため、偲ぶ会には現役時代の会社や自由学園の関係者、地元の人たちなど七十数名が集まり大盛況でした。大のタイガースファンだった矢野さん。遺影の写真は、ユニフォームをはじめタイガースグッズで所狭しと囲まれていました。

まず矢野さんの神戸製鋼所時代の上司だった宮地良樹さんが献杯の音頭。「初めて会ったその瞬間から矢野（注：さんづけではありません）の人柄にぞっこんほれ込んでしまいました。私のほうが 10 歳年上なので、兄貴、弟という

消火のやり方を体験。また、「煙体験ハウス」では「まったく目の前が見えなかった」など、火事の際の煙の怖さを実感しました。



感じてでした。彼はブラジルやニューヨークなどに勤務しましたが、私がそこに出張した時は堪能な英語でサポートしてくれました。私も 90 歳。矢野、間もなく会いに行くから待っているよ」と挨拶。

歓談、食事の後は鉄鋼業界で長年一緒に仕事をした香山徳二さん、自由学園で一緒に学んだ内田浩介さん、自由学園のバスケット部の後輩で、卒業後もずっと家族づきあいをしてきた井田達郎さん、同じバスケット部関係の小林宏さん、柴田智之さん、そして学園町自治会の人見良一会長や森武生さん、浜名純さんから地元住民がスピーチ。



していたが、いつのまにかすっかりとりこまれてしまった」など、その人柄が偲ばれるエピソードが語られました。最後に孫の龍之介さんが矢野さんとの日常の交流をユーモアたっぷりに話してくれました。

矢野さんの生誕から今までの人生を写真とともに振り返るスライドショーでは、目頭を押さえて観る人も……。妻の葉子さんは「最後は不自由な体でしたが、これまで歩んできた人生について聞いたら、やりたいことを好きなようにやってきたので、思い残すことはない」と話していました」と結びました。

そして、極めつけは「六甲おろし」の大合唱。歌詞の二番、三番は矢野さんを題材にした替え歌バージョン（次男大介さんの妻、麻利さん作詞）で大いに盛り上がりました。せめて 38 年ぶりの日本一まで生きていてほしかったという声が上がりました。

矢野さん、ありがとう。

# 学園町憲章の生みの親

## 小嶋敏男さんを悼む 浜名純

小嶋敏男さんが亡くなった。ずっと体調を崩して療養していたことは聞いていたが、9月14日に見人自治会長から「小嶋さんが9月12日に肺炎のため永眠しました。82歳でした」というメールが飛び込んできた時は、ぐっと胸が詰まった。矢野さんに続き学園町の名物男が逝ってしまった。

小嶋さんは、学園町自治会で、矢野会長のもと副会長を務めていた。丁々発止の名コンビだった。なんといつても小嶋さんと言え

ば、学園町憲章の生みの親である。彼がいなかったら学園町憲章は存在しなかったと言っても過言ではない。学園町でもミニ開発が進み、緑の環境が失われていくのを放置しておけないと、2007年、ほとんど一人で立ち上がったのだ。決して声を荒げたり、ぐいぐいと人を引っ張っていくタイプではないが、穏やかに自説を展開しながら、地道に執拗に目的に向かって進む。そして、いつの間にか皆に学園町憲章の大切さを認識させ、実現する。学園町憲章の看板まで町内各所に設置してしまうのだ。これが小嶋流のやり方だったのか！（悪口で言っているのではなく、感嘆感服しています）。雪深い山形県生まれの粘り強さかもしれない。



早稲田大学で建築を学び、竹中工務店で長く設計部門に携わった一級建築士。その経験と知識を生かして、学園町の建築現場をこまめに回り、建築担当者を自宅に呼んでアドバイスしていた。その情熱にはただただ頭が下がった。もう一つ特筆しておかねばならないのが、自治会の組の再編成をしたことである。道路を跨いで組を分けるなど、適正規模の組に再編した。今もそれが踏襲されている。

そう、自治会で開催した「狂言の会」のことも触れておかねばならない。自由学園のしのめ茶寮や記念講堂で何年間か実施したのだが、その舞台のセッティングや椅子の配置など詳細を書いた設計図を作った。極めつけは舞台の松の木絵まで自分で描いてしまったことだ。そう、絵やスケッ

チも得意だった。実は現役の時、人間国宝の狂言師野村万作の稽古場を設計したのが小嶋さんだったと後になって聞いた。

「現役を退いたら町のために尽

## 豊かな環境の保全目指して 勉強会や市長との座談会開催

学園町自治会では、緑豊かな環境を保全し、次世代に継承していくための活動を展開していますが、その一環として10月21日、自由学園しのめ茶寮で「学園町まちづくり勉強会」、次いで29日には富田竜馬東久留米市長との座談会を開催しました。

### 「学園町まちづくり勉強会」

古くから学園町に住んでいる人や自治会の役員ら18人が参加、筑波大学システム情報系社会工学科の藤井さやか准教授を講師に「地区レベルのまちづくりルール」について学びました。

こうした勉強会を開いた背景には、学園町憲章の趣旨を実現するためには、住民の発意による地区計画づくりを検討することが必要

ではないかという声がありました。では、地区計画とは何か、その概要はどういったものか、策定までのプロセスや、そのメリットやデメリットはどうなのだろうか、といったことをきちんと学ぼうということになったのです。

例えば、地区計画が策定されることで、広い敷地を細分化して売買することに規制がかかるケース

力したい」と言っていた小嶋さん。「学園町の緑の環境を守りたい」というあなたの意志はしっかりと皆さんの心に引き継がれています。よ。ご冥福をお祈りいたします。

が出てくるかもしれません。そう

なると、相続のために学園町の土地を売ろうという人が自分の土地を売りづらくなったり、新たに学園町に土地を購入したいという人が手に入ることができないという事態も予想されます。つまり、学園町の市場価値を下げるのではないかと、といった危惧が出てくるというわけです。

まず、藤井准教授はまちづくりルールについて以下のように分類して説明しました。

・「まちづくり憲章」「建築協定・景観協定・緑地協定」「地区計画」などがあり、このうち「まちづくり憲章」は、地域社会でゆるやかにお互い同士が守り合う仕組みである。

・学園町憲章は、守りたい価値を規範として示し、自発的な協力を求めるスタイルで法的拘束力はな



藤井さやか准教授

い。

・「建築協定・景観協定・緑地協定」は、地域主体で詳細なルールを決め、自分で運営する仕組みで、計画の維持や順守は、住民による委員会がおこなう。これに対し「地区計画」は、地域の意見を聞きつつ、行政が詳細なルールを決め、行政が運営する仕組みで、計画の維持や順守は行政が行う。

・特に「地区計画」は、区域内の土地すべてを対象としており、同意しない土地所有者にも制限がかかる。地区計画内で建築物の形態を変更したり、樹木の伐採を行う時は、市町村長への届け出が必要で、市町村は地区計画に適合しているかどうかを審査、不適合の場合は勧告を行い、設計変更などを求めるという厳しいものである。



これらを踏まえた上で、藤井准教授は、「地区レベルのまちづくりルールは、地区の固有の景観・環境を維持・保全・育成できるというメリットがありますが、厳しすぎるとルールが排他的になり、特定のしか転入できないといった事態が起きます。」

それにより取引がしづらくなり資産価値の低下を招く。また、将来の変化に対応できないなど、地区の活力が低下するなどのデメリットもあります。

地域の価値を守りつつ、ある程度の変化を許容できるまちづくりルールであることが重要です。

何を大切にしたいか、何を守りたいかを決めるのが最も大切で、それがしつかりすれば将来的にもぶれないものになります」と話してくれました。

## 市長との座談会

富田市長が、市民と直接会って市民の声や意見を聞くという趣旨で実施しているのが市民と市長の座談会「竜馬が行く」です。

学園町自治会では、この座談会に応募し、自由学園しのめ茶寮での座談会が実現しました。

世代交代による相続や転居で急ピッチな宅地開発が進み、学園町の風景が失われつつある現状と、環境を守るための取り組みについて知ってもらおうというものです。

午後1時に自由学園正門前に集合し、市長とともにしのめ茶寮まで歩きました。道の両側には住宅が撤去され更地になっている場所が2か所あり、開発の現状を見てもらいました。

「私も東久留米市で育ちましたが、学園町は敷地の広い家が多い環境に恵まれた町だという印象でした」と市長。

座談会では、自治会側から学園町の成り立ちや歴史、環境保全のための活動の報告があった後、自由な意見交換を行いました。

自治会からは市に対し「学園町の土地を購入した不動産業者へ、市から学園町憲章の説明をしてほしい。また、不動産業者が学園町の土地・建物を販売する場合、市から自治会に連絡してください」などと要望しました。

富田市長は「地区計画には住民の同意が必要です。また、法的にも策定までには相当な時間がかかるのが現状ですが、学園町の皆さんの声を聞きながら、一緒に住みやすい環境づくりを進めていきたい」と述べました。

これに対し出席者から「これまでの地区計画などからブレイクスルーした新たな枠組みをつくって市と地域が構築して進めたらどうでしょうか。他の自治体から、東久留米のやり方はとても参考になる、と言われるような取り組みをしましょう」と言った提言もありました。

# 「中学生の考える東久留米の未来」 南中学校3年生が発表会

南中学校（若澤直樹校長）では9月14日～16日まで奈良・京都の修学旅行を実施しました。もちろん古都の文化財や伝統文化に触れて学ぶことも修学旅行の主な目的ですが、今年度は地域連携の一環として、修学旅行を通して気づいた「京都市の魅力や課題」から「東久留米市をより良い町にするための解決策」を考えることを事後学習のテーマにしました。スローガンは、「創造く古都の魅力を郷土の進化へ」。10月30日に行われた発表会では、中学生らしいアイデアが披露されました。

発表会は「我ら！推しの市プレゼン隊」

ゼン隊く京都の実情から見えた東久留米の良さを導き出せ」と銘打ち、富田竜馬東久留米市長はじめ、市の教育部、教育委員会、青少年健全育成協議会、それに学園町自治会有志らが参加、生徒の発表に耳を傾けました。3年生は1組から5組までありますが、修学旅行ではいくつかの小さな班に分けて行動、この日は5つの班が代表としてそれぞれ発表しました。

奈良・京都の魅力については「道路が広くてきれい」「景観を守ろうとしている取り組みがある」「四季を感じやすい」「現代の建築物と昔からの建築物が混在した景観がある」「春には葵祭、夏には祇園祭など多くの祭りがあ」「日本の文化を感じる」などが挙げられ、課題では「ゴミが多い」「オーバートーリズム」「駐車場が少なく路上駐車が目立つ」といった指

摘がありました。これに対して、東久留米の魅力は「都心と好アクセスだけれど、



自然が豊か」「新鮮で安心安全な農産物が市民に提供される」「子どもが遊べる公園が多い」「川の水質がとてよい」などで、課題は「道が狭く人が通りづらい」「祭りなどのイベントが少ない」「自然が失われつつある」「外部からの人が少ない」などが出ました。では、中学生が考えた東久留米の魅力ある町にするためのアイデアのいくつかを列挙しましょう。

- ・富士見テラスの再建計画―京都で見えてきた借景の技法を活用する
- ・優勝者にお菓子一箱分を進呈する水鉄砲大会
- ・自然豊かな場所でのラジオ体操やヨガ
- ・花屋さんの売れ残りや身近に咲く雑草を使った「花のワークショップ」
- ・落合川をもっと楽しもう
- ・柳久保小麦の活用
- ・東久留米駅の外壁で光合成

などなど。最後の挨拶で富田竜馬市長は、「京都と東久留米を比較すること自体が斬新です。東久留米をよくするためのヒントをたくさんいただきました。皆さんの発想を生かしながらふるさとを良くしていきたいと思えます」と述べました。

東京も急に寒くなつて冬到来を感じます。

今日は、クリスマスリースをつから飾るかについてです。年々飾り始めが早くなり、ハロウィンが終わって11月すぐのお届けを希望いただくことも増えてきました。

クリスマスの4週間前からアドベント期間にはいります。アドベント(待降節)とはキリスト誕生を待ち望むクリスマスの準備期間です。そのため、12月初めから飾るのが一般的です。

また、日本ではクリスマスが終わるとすぐに外しますが、海外ではクリスマスシーズン(1月初めまで)は飾っているのです。しめ飾りを飾るまで出しているも全く問題はありません。

次に気になるのが生(フレッシユ)なので早くから飾って変にならないか、ということ。これはお客様から一番多い質問です。もちろん水につけているわけ

### 花だより③③

クリスマスリースを  
飾りましょう



立川まり

ではないので元通りのみずみずしさのままとはいきませんが、針葉樹は型崩れや色あせが少なめなので、乱暴に扱わなければほとんどその状態を保つことができます。使っている材料にもよりますが、モミはもちが良いかと思えます。他の物も通常の玄関ドア(少しひさしがあつて風通しがよい)に飾ればクリスマス当日も大きく見劣りはしないと思います。といつてもさすがに2か月となるとかなりドライ化しますので、フレッシユに近い状態で保ちたい場合は、やはり12月初めに飾ることをおススメします。

FAX 042-423-8646  
E-mail support@life.jp  
(フローラルライフ)立川まり

運動はもとより、歩いたり走ったりという、日常動作にも辛さを感じる人でも、ちよつとしたコツをつかめば身体に負担なく今より「楽」に動けるようになります。

この教室は、スポンジのような「ひめトレ」という短いポールを主に用い、身体をほぐし、整えていく体操教室です。

ひめトレにより、骨盤を正しい位置に導き、さらに骨盤底筋を鍛えることができるので、ウエストや下腹部を引き締め、美姿勢を創

### しののめ朝市

12月10日・1月14日・2月11日  
(毎月第2日曜日) 朝10時から  
場所:しののめ茶寮前庭  
地元で取れた新鮮野菜の無人販売  
です。小銭をご用意ください。



ることが出来ます。

生活のパフォーマンスを上げた人、いつまでも若々しくありたい人、また尿漏れが気になる方にはおススメです。身体がつかない時こそ、参加してもらいたい教室です。

●指導担当 森下直子 健康運動士、(財)日本エアロビクス連盟指導専門委員、ひめトレアドバンスト指導員・普及員

●月2回、1回1500円。ひばりが丘団地南集会所(ひばりが丘団地バス停前)で。

●12月は17日11時から。来年1月は、今年12月5日に決定。

●申し込み、問い合わせは森下直子まで(電話 080-4333-2343)

## おしらせ

### 《自治会の資源物集団回収》

12/4・12/18・1/8・1/22・2/5(1月は第2・4月曜日)  
・アルミ缶/新聞紙/ダンボール/雑誌・本/古紙/古着・布/に分別して朝8:30までに出してください。  
・古着・布は雨天時は出さないでください。  
・自治会の収益となりますので、ぜひご協力ください。

### 《南部地域センター》

※各イベントの問合せ先は南部地域センター(指定管理者)(株)セイウン ☎ 042-451-2021  
Mail:Higashikurume\_nanbu@s-seiun.co.jp

【1】《東久留米のクリスマス》※オーナメント大募集  
※今年のテーマは【More Peaceful】もっと平和に。ずっと笑顔で。みんなであつくるハッピークリスマス。穏やかで、楽しい気持ち。あなた流の素敵な自由な発想のオーナメントをお待ちしています。  
※募集期間 12/24(日)まで(展示可能作品数に達するまで) ※南部地域センター

ビーに12/26まで展示します。※応募方法 展示場所に直接持参してください。飾りつけは職員が行います。作品の返却はできません。

【2】《命のかがやきコンサート》・日本画とともに琵琶と和楽器の調べ・2/4(日)講習室 13:30～入場料1,000円・出演★日本画家 山内若菜(作品【牧場放】の展示とトーク)★塩高和之(琵琶・作曲)★保田由子(歌)★邦楽アンサンブル 花しょうぶ(箏と尺八)・協力・連盟団体 福島復興を考える実行委員会 新日本婦人の会東久留米支部

【3】《ヨガ教室関係①～④》  
①「アンチエイジングヨガ」集会所・日曜日 12/10・12/24・1/14・1/28 10:00～11:00/11:30～12:30・参加費:700円・講師:ヨガインストラクター AZUSA  
②「ヨガ the 男塾!」講習室 1・金曜日 12/15・1/5・1/12・1/19・2/2・2/9 19:00～20:00・参加費:700円  
③「日曜ヨガ教室」集会所・12/17・1/7・1/21・2/4

10:00～10:45/12:30～13:15・参加費:500円  
④「健康体操」集会所・日曜日 12/17・1/7・1/21・2/4 11:15～12:00/13:45～14:30・参加費:500円  
※②～④の講師:ヨガインストラクター 健康運動指導士 中村陽子

【4】《ヨガ教室以外のイベント》  
★「ベビーマッサージ」・12/11(月)・1/15(月)10:00～12:00・和室1・2・参加費:2000円・講師:飯岡祐子・生後2か月～1歳前後の赤ちゃん和妈妈さん・妊婦さん  
★「妊婦さんとママのためのこころとからだのセルフケアレッスン」・12/18(月)・1/22(月) 10:00～11:30 和室・参加費:500円・講師:ひばり maman・テーマ12月「年末年始の体重コントロール」1月「未定」  
★「バクさんとその仲間と」音楽と・12/24(日)・1/28(日)開演 13:30～講習室・参加費:500円  
★「60歳からの音楽で脳トレ体操」・12/25(月)・

1/29(月) 10:15～11:30 講習室1・参加費 1000円  
★「なんぶおしゃべりサロン」・1/7(日)・2/4(日) 13:30～15:30 音楽室・参加費 100円

### 《自由学園》

※イベントの問い合わせ先は自由学園広報本部 TEL:042-428-2122e-mail: kh@jiyu.ac.jp  
URL: https://www.jiyu.ac.jp  
詳細・申込みは学園HPからお願い致します。

■幼児生活団幼稚園 園庭開放  
・12/21(木)・1/11(木)・1/18(木)・1/22(月)・1/31(水)・2/7(水) 10:00～11:00

■自由学園中等科・高等科入試対策勉強会 12/9(土) 15:00～17:30 対象:中等科・高等科入学希望者

■自由学園こっこ広場(0-3歳向け) 0.1.2才のお子さんとお母さん、お父さんのための子育て広場です。詳細はこっこ広場で検索